

プレスリリース

報道関係者各位

2023年3月31日

仙台の色を探すプロジェクト「Sendai Colors」

～ Foraged Colors ～

台所草木染め 結工房（宮城県仙台市青葉区堤町3丁目4-16 代表：吉田信子）は、1996年の創立以来、染織に関する研究・製織・糸作りを中心に、草木染め・手織布の販売・教室を主宰しています。2021年度より仙台市市民文化業団（持続可能な未来へ向けた文化芸術の環境形成助成事業）の助成のもと、海や山から採集した素材で「色」をつくり、現代社会に実装することを目的としたプロジェクトに取り組んで参りました。

2022年度、独自の技術開発により自ら採集した植物や食材を素材にした顔料やメディウムをつくり出すノウハウを応用し、仙台市内の印刷事業者、研究機関、教育施設、デザイナーなど他分野の方々とのコラボレーションを行いながら「仙台」(東北)を象徴するような「色」を探す事業に取り組みました。

今後、「仙台の色」 「Sendai Colors」を発表するほか、技術開発を通じて得られたノウハウを第三者にひらいていく企画や教育プログラムの開発などへと展開させていきます。

● 最新情報は Foraged Colors プロジェクトのウェブサイト 《 <https://foragedcolors.com/> 》をご覧ください。





写真 左・右) 草木染めの技術を応用し、植物染料から生成した顔料。

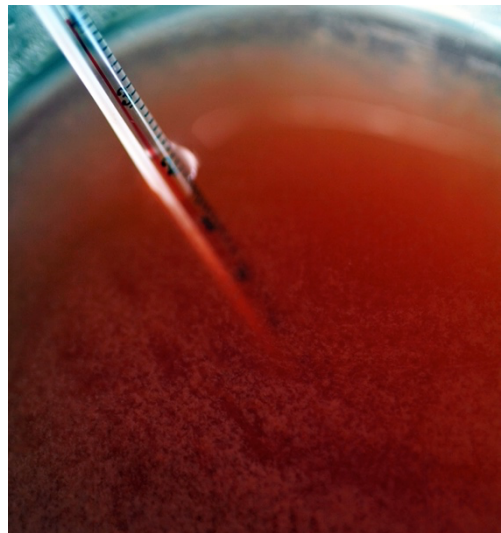


写真 左) 顔料とアマニ油を混ぜ、印刷用のインクを生成。右) グイマツの染液から顔料を凝析。

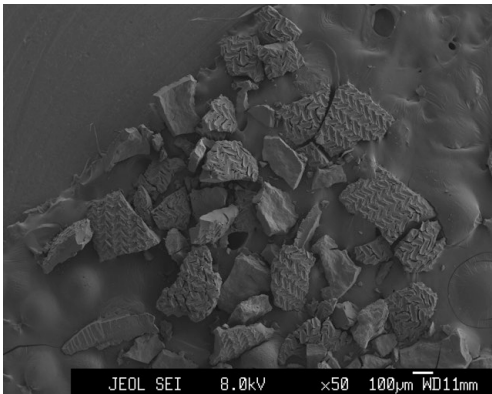


写真 左) 顔料を電子顕微鏡で粒度測定。右) 仙台市内の印刷事業者でテスト印刷。

◆ Foraged Colors (フォレージド・カラース)

<https://foragedcolors.com/>

台所草木染め結工房が主催する「Foraged Colors」プロジェクトは、海や山から採集した素材で「色」をつくることと、その「色」を印刷などの方法で現代社会に実装することを目的に顔料とメディウムなどの研究開発に取り組んでいます。

持続可能性の観点を中心において、染料・顔料、塗料、印刷など「色」を扱う産業の領域を横断しながら、現代の環境リテラシーを持って産業を見直し、実際に現代社会への実装を図っていきます。山から都市、採集から印刷、民俗文化から産業までを結び直していくプロジェクトです。

◆ 台所草木染め 結工房

<http://www.yui-koubou.jp/>

代表：吉田信子

1996年創立。染織にまつわるフィールドワーク・採集・製織・糸作り・草木染め・手織りをテーマに、奄美大島や宮城県、岩手県の「自家用布を作る技術」を研究。専門領域の「絹」のほか、近年は葛や苧麻などの植物繊維の技術研究も行なっている。その技術を用いたテキスタイルデザインや日用品の制作販売、教室やワークショップの開催を行うほか、大学などの研究機関と連携した技術開発や試作品制作や、布に関する執筆などに取り組んでいる。2010年より息子の吉田勝信（デザイナー）が参画。

◆ 協業・支援をいただける企業・団体を募集中

Foraged Colors の活動を支援、協働、ワークショッププログラムのお受け入れなどを検討くださる企業様・団体様を募集しております。本プロジェクトにご興味がある企業様、団体様、お気軽にご連絡ください。

◆ 本件に関するお問い合わせ・画像請求

台所草木染め 結工房（吉田勝信） mail@ysdktnb.com / 090-6002-0302

主催 台所草木染め結工房

企画・監修 吉田信子

企画サポート 吉田勝信（吉勝制作所）

助成 仙台市市民文化楽団 持続可能な未来へ向けた文化芸術の環境形成助成事業